



小樽市議会ホームページQRコード

携帯電話やスマートフォンから「市議会会議録」や「おたる市議会だより」などをご覧になれます。

おたる市議会だより

Otaru
City Council
Newsletter



第 98 号

発行／小樽市議会 編集／小樽市議会広報委員会
小樽市花園2丁目12番1号 TEL 22-2847 FAX 22-2315

令和 6 年 11 月 1 日発行



北海道新幹線後志トンネルを視察

8月22日に、建設中の北海道新幹線後志トンネルの天神工区を視察し、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構の担当者から工事の進捗状況や工法について説明を受けました。その後、工事で出た掘削土を受け入れている張碓地区を視察し、掘削土の処理についても説明を受けました。

議会の動き

8月28日	議会運営委員会
9月 2日	議会運営委員会
3日	本会議
9日	議会運営委員会、本会議(会派代表質問)、建設常任委員会(副委員長互選)
10日	議会運営委員会、本会議(会派代表質問)
11日	議会運営委員会、本会議(一般質問)、予算特別委員会(正副委員長互選)、決算特別委員会(正副委員長互選)
12・13・17日	予算特別委員会(総括質疑)
18日	総務・経済両常任委員会
19日	厚生・建設両常任委員会
25日	議会運営委員会、本会議
10月 1日	決算特別委員会(書類審査、総括質疑)
2日	決算特別委員会(総務・経済両常任委員会所管事項)
3日	決算特別委員会(厚生・建設両常任委員会所管事項)
4日	決算特別委員会(総括質疑)

令和6年 第3回定例会

第3回定例会では、所得税が非課税であり住民税所得割のみ課税となる方の定額減税可能額の増による「定額減税調整給付金給付事業費」や、ウイングベイ小樽への行政機能移転に伴う整備費用の増による「公共施設等再編経費」、令和5年度の決算剰余金の一部を積み立てる「財政調整基金積立金」などが計上された「令和6年度一般会計補正予算案」のほか、「令和5年度超過交付額返還金」などが計上された「介護保険事業特別会計補正予算案」、「中村誠吾議員に対する議員辞職勧告決議案」などを審議しました。

議案のうち、令和5年度各会計の決算認定については、決算特別委員会に付託し、第3回定例会後に委員会を開催して審査しました。第4回定例会で決算特別委員長から審査結果が報告された後、採決する予定です。

※※定例会の議決結果は、8ページをご覧ください※※

立憲・市民連合の主な質問

【代表質問】



しもがね 下兼 薫 議員

ウイングベイ小樽の賃借料について

問 ウイングベイ小樽への行政機能一部移転について、当初予算で計上されている賃借料1億5000万円の積算根拠を示してください。

答 施設所有者から、1坪当たり月額単価3000円を示され、契約坪数が3872坪であるため、月額賃料を1250万円とし、年間で1億5000万円を計上しました。

外国人材の受入れについて

問 市長は、会場で、外国人材を活用している企業が増えており、これからも増えていく外国人との共生社会をどう作っていくかが課題としていましたが、外国人材の受入れの課題について、見解を伺います。

答 市内企業からは、住居の確保や就労環境の整備、コミュニケーションに対する不安、受入れコストや煩雑な手続などの課題があると聞いているほか、文化や習慣の違いによる近隣住民とのトラブル防止のた

め、生活マナーの周知を図る必要があることなど、様々な課題があると認識しています。

災害時における男女共同参画について

問 平時時の備えとして、災害時の避難所運営マニュアルの作成や見直しの際、男女共同参画の視点を持つてほしいと思いますが、見解を伺います。

答 現在のマニュアルでは、避難所に女性職員を配置するほか、更衣室や授乳室の確保、男女別トイレの設置、避難所の巡回など、女性の視点を取り入れていますが見直しの際は、能登半島地震の課題なども踏まえ、整理したいと考えています。

地域共生社会について

問 第2期地域福祉計画では、ケアラーやひきこもり、孤立など一人で悩みを抱え込み、自ら相談に来ることができない方の把握に努めるとありますが、把握、支援を進めるための方法について、見解を伺います。

答 把握には、町会や民生児童委員、地域住民などの情報提供が重要であり、今年度

から重層的支援体制整備事業を実施し、相談支援体制を強化したことや、地域から情報提供してもらいたいことを改めて周知し、いただいた情報に基づいてアウトリーチによる継続的な支援を行いたいと考えています。

小樽市の除排雪について

問 今年度の除排雪作業における新たな取組があれば示してください。

答 第6ステーション区域の一部を第2ステーション区域に編入するほか、小学校3学期の始業式に間に合うよう、通学路の排雪作業を開始するとともに、観光に配慮した堺町本通線の歩行空間の確保のため、歩道の人力除雪班を新設し、作業を実施したいと考えています。



【一般質問】



ささき 高木 秩 議員

アイヌ遺骨返還・アイヌ施策について

問 不法に持ち去られたアイヌ民族の遺骨を故郷に返

還する動きが起っており、本市にも関係団体から返還協力の申入れがあったため、国に対して手続を進めているとのことですが、本市からの出土と確認した遺骨は、尊厳の念を持つて本市に再び葬られるということでしょうか、見解を伺います。

答 文部科学省のガイドラインの趣旨に沿った遺骨返還の考え方に基づき、尊厳ある慰霊の実現を図りながら、市営墓地の小樽市中央墓地内の一区画に埋葬されるものと考えています。



たかはし 龍 議員

人口減少対策について

問 市の人口戦略推進本部のタスクフォースとして位

置付ける、若手職員による政策検討の会議体について、設置に向けての進捗を示してください。

答 人口戦略推進本部で、銭函地区などにおける人口対策の方向性を検討している段階であり、具体的検討を行うタスクフォースについては設置に至っていません。

市内居住の外国人について

問 本市に居住する外国人との文化の違い等によるあつれきに対し、市役所庁外関係機関との情報交換の必要性があると考えますが、連携について見解を伺います。

答 談があつた場合は、担当部署が相談者から内容を伺い、内容に応じて関係機関につなぐなどの対応をしています。

【主な質問項目】

- ▽消防団員増の取組について
- ▽小樽市歴史文化基本構想について
- ▽第3号ふ頭の横断歩道設置
- ▽観光に配慮した除排雪について
- ▽放課後児童クラブの民間委託
- ▽並行在来線のバス転換について
- ▽市の専門職員確保の取組について
- ▽男性職員の育休の推進について
- ▽若手職員の人口対策組織について
- ▽総合福祉センターの移転について
- ▽行政のオンライン窓口について
- ▽フッ化物洗口について
- ▽ごみ不法投棄とポイ捨てについて
- ▽無縁遺体の対応について
- ▽高齢者単身世帯と孤独死について

※…7ページの用語解説をご覧ください。

自由民主党の主な質問

【代表質問】



さとう なおみ
佐藤 奈緒美 議員

市内のAED設置箇所について

問 ホームページでAEDの設置箇所を地図で示すなど、速やかに確認できる自治体もあり、本市でも同様の対応をすることが望ましいと思います。が、見解を伺います。

答 AEDの設置箇所を地図で表示することは、救急救命の観点から望ましいと考えますので、市ホームページで現在案内をしている「おたる救急ステーション」に住所の掲載を加え、場所を地図上で示し、確認しやすいようにしていきます。

春日部市との防災連携協定の経緯について

問 埼玉県春日部市との都市間協定締結について、締結に至る経緯を示してください。

答 令和4年9月の春日部市長と本市市長との対談がきっかけで、春日部市の自主防災組織の組織率が100%であるなど、災害対策の取組が本市の参考となり、地域振興などの分野でも連携の効果が期待されるため、協定を締結しました。

るため、協定を締結しました。

生体保管庫の状況と今後の環境について

問 ウイングベイ小樽への生体保管庫の移転に関して、生体保管庫の現在の状況と今後どのような環境で保管することになるか、お示しください。

答 生体については、現在、保健所内の限られたスペースで保管していますが、移転により、保管場所が広くなり、衛生面の向上や、個体の状態に合わせたより適切な管理ができるようになります。

小樽市の小学校教員等の救急講習会について

問 本市における保育園、幼稚園、学校等の教職員の救急講習会受講状況について、示してください。

答 学校等の申込みを受け、消防本部が救急講習を実施しています。



災害発生時の災害弱者への対応について

問 被災者全般への対応と、高齢者、身体の不自由な方、子ども等、災害弱者に対する特別な対応についての考え方を示してください。

答 被災者の対応については、被害情報や復旧等に係る情報の発信、避難所開設や支援物資の提供など、必要な支援を行います。特に、いわゆる「災害弱者」への対応については、個別避難計画に基づく支援や、避難所での個室の提供のほか、必要な支援物資に対する配慮などを考えています。

【一般質問】



まつい わ かずき
松岩 一輝 議員

子ども議会が継続的でなかった理由について

問 本市主催の子ども議会は、平成4年に実施してから今日まで行われていませんが、継続されなかった理由を示してください。

答 平成4年に実施した子ども議会も議会は、記念事業であり、継続的に行うことを想定していなかったほか、子どもの意見を聞く手法については、「おたる子ども会議」などの取組を通じ、子ども議会という形式にこだわらなかったためではないかと考えます。

通じ、子ども議会という形式にこだわらなかったためではないかと考えます。

忍路鯉漁撈と高島越後踊りへの支援について

問 経年劣化による既存設備・備品類の修繕や買替えについて、どのような支援を行っているのか、また今後の拡充策について示してください。

答 各保存団体が実施する公開行事などの事業費のうち、公開費などを対象に補助金を交付することとし、申請に基づいて、財政的支援をしています。補助金は予算的な上限がありますが、要望があれば、予算の拡充について市長部局と協議を行うほか、文化庁等による文化財助成事業の活用などについて、助言したいと考えています。

通学路の点検と危険箇所の改善について

問 これまでの通学路の点検では、信号機や柵の設置の対策が不十分との指摘があります。今後の点検と危険箇所の改善についての考えを示してください。

答 市教委としては、通学路安全プログラムに基づく合同点検や、危険箇所の改善に向けた取組が迅速に進められるよう、見直す必要があると考えており、学校が行う点検については、これまで以上にきめ細かな把握を行うよう校長に指示し、関係機関との合同点検は夏期と積雪期の季節に応じた現状確認を行います。今後の危険箇所の改善については、安全推進会議で、連携や方策について協議したいと考えています。

【主な質問項目】

- ▽地域通貨について
- ▽期限切れフッ化物洗口剤の使用について
- ▽小樽市の介護人材について
- ▽総合福祉センターの移転について
- ▽保健所移転の予算について
- ▽消防本部のXの運用について
- ▽子ども・若者の審議会等の登用について
- ▽バス通学費の助成の基準緩和について
- ▽買い物支援について
- ▽石狩湾新港地域周辺への企業誘致と開発
- ▽観光関連施設の老朽化と対策について
- ▽銭函市民センターについて
- ▽新総合体育館整備の入札の在り方について
- ▽自治体広告について
- ▽事業者裁量型の除雪について

みらいの主な質問

【代表質問】



平戸 理史 議員
ひらと さとし

生活保護受給者の自立に向けて

問 制度上、生活保護受給者がパチンコやギャンブル等をすることは禁止されていないとはいえ、生活保護の目的である自立を考えると、それらに保護費を費やすことは非常に望ましくないと考えますが、見解を伺います。

答 生活保護法第60条では、「被保護者は、常に、能力に応じて勤労に励み」、「支出の節約を図り、その他生活の維持及び向上に努めなければならない」とされており、保護費をパチンコなどで浪費することは、好ましくないと考えています。

生活保護受給者のギャンブル等への対応は

問 本市における、生活保護受給者のギャンブル等の利用状況把握のため、場外馬券販売所やパチンコ店等に出向いたことや、他にしてきたことはあるか、示してください。

答 生活実態把握のためにケースワーカーがパチンコ

店などへ出向くことはあります。また、定期訪問時に生活状況の聞き取りを行う中で、生活費を過度にギャンブル等に費やしていないかを確認しています。



無痛分娩の費用助成について

問 無痛分娩を選択する上でハードルは、経済的な負担の大きさと医療提供体制の安定的な確保とを考えていますが、見解を伺います。

答 無痛分娩についての正しい知識を広く理解してもらうことに加え、普通分娩より費用負担が大きいことや、医療スタッフの安定的確保が必要のため、実施できる医療機関に限られることと考えています。

育休取得率の向上について

問 政府のこども未来戦略では、公務員の男性職員の

場合、2025年で一週間以上の育休取得率85%など、高い目標が設定されていますが、本市の目標は今後どのように設定していくのか、本市職員の育休取得率が上昇していることも踏まえ見解を伺います。

答 本市における男性職員の育休取得率の目標は、令和6年度末で20%であり、実際は、4年度で28.2%、5年度で44.0%と目標を上回っていますので、政府の目標値を踏まえ、引上げを検討しています。

【一般質問】



中村 岩雄 議員
なかむら いわお

※ HPVワクチンの普及について

問 令和6年4月に医師会有志が医師会へ提案し、理事会で承認された「HPVワクチン普及に向けての小樽市医師会を通じた活動案」についての意見と、市のより積極的に包括的な協力について、見解を伺います。

答 当該活動案については、医師会主導で啓発活動を推進するものであり、HPVワクチンの普及啓発を進める本市としても心強いものと考えています。また、普及啓発に対する市の協力については、医師会の

担当医師と連絡を密に医師会の啓発活動に協力しており、医師会との共同の取組は非常に重要であると認識しています。



小池 二郎 議員
こいけ じろう

児童生徒の交通安全の見守りについて

問 交通安全の見守り時の旗を用意するのは、学校なのかPTAなのか特に決まりがない状況と考えられますが、旗などの見守り活動時の持ち物を新しく用意する費用負担について、見解を伺います。

答 各小中学校の見守り活動の体制や、使用物品の状況を把握する必要があるため、調査を行った上で、今後の対応を検討したいと考えています。



小樽市のスポーツの考え方

問 スポーツ選手のセカンドキャリアに対する市の見解と、支援の取組を示してください。

答 スポーツ選手のセカンドキャリアについては、子どもたちなどへの指導や地域への貢献など、地域社会の活性化に寄与できると思われます。支援は現在ありませんが、指導者としてふさわしい人材がいた場合は、どのような支援ができるか検討したいと考えています。

【主な質問項目】

- ▽クルーズ船客へのおもてなし
- ▽天狗山観光施設整備資金基金の早期活用
- ▽海水浴場の水質について
- ▽子ども・子育て支援事業計画
- ▽小中学校のエアコンの管理
- ▽放課後児童クラブの開設時間
- ▽道路パトロールについて
- ▽道路への雪出しについて
- ▽小樽公園旧こどもの国再整備
- ▽小中学校不登校児童の健康診断
- ▽HPVワクチンの定期接種
- ▽がん検診について
- ▽不妊治療・不妊検査について
- ▽看護師確保対策について
- ▽市HPへ町会活動と回覧板情報を

※…7ページの用語解説をご覧ください。

公明党の主な質問

【代表質問】



白川 貴城 議員
しらかわ たかしろう

令和6年度補正予算案について

問 市長の会見では、ウイングベイ小樽への行政機能移転に係る今後の課題として、

ワンストップサービスができるかを整理することとしたが、整理した内容を説明し、進捗状況および移転までに実現可能か、示してください。

答 保健所の手続では、必要書類である住民票や所得課税証明書を市役所等で取得の上、保健所窓口に来ていただきますが、これらの書類の添付を必要としない方策について、検討を進めています。

問 保健所の手続では、必要書類である住民票や所得課税証明書を市役所等で取得の上、保健所窓口に来ていただきますが、これらの書類の添付を必要としない方策について、検討を進めています。

小中学校のエアコンについて

問 教室の児童生徒数や位置によってエアコンの効き目に差があるなど、効果的に稼働するように把握し、問題があれば対策を講じる必要があるため、どのように現状を把握しているのか示してください。

答 市教委職員が学校を訪問し、稼働状況を確認、校長から児童生徒の反応などの聞き取りを行ったほか、8月末に各学校へ調査を行い、状況の把握に努めています。

問 フューチャー・デザインは、小樽市の新しい価値を発見することにつながる重要な考え方であり、まずは勉強会などを通じて考え方を共有し、理解の輪を広げてはどうかと考えますが、見解を伺います。

まずは、他都市の取組などの情報収集に努め、その上で課題を整理し、本市に適した実施方法を模索したいと考えています。

※フューチャー・デザインの積極的な活用について

問 フューチャー・デザインは、小樽市の新しい価値を発見することにつながる重要な考え方であり、まずは勉強会などを通じて考え方を共有し、理解の輪を広げてはどうかと考えますが、見解を伺います。

答 まずは、他都市の取組などの情報収集に努め、その上で課題を整理し、本市に適した実施方法を模索したいと考えています。

問 空き家の所有者や相続者が、「問題を先送りしない」という意識を高めていく呼びかけ、「問題を先送りさせない」後押しやフォロワーを行政が行う必要があると考えますが、市の方策について見解を伺います。

答 空き家の管理や相続に関する情報などを記載した、空き家ガイドブックを配布しているほか、相談会やセミナーなど

空き家対策について

問 空き家の所有者や相続者が、「問題を先送りしない」という意識を高めていく呼びかけ、「問題を先送りさせない」後押しやフォロワーを行政が行う必要があると考えますが、市の方策について見解を伺います。

答 空き家の管理や相続に関する情報などを記載した、空き家ガイドブックを配布しているほか、相談会やセミナーなど

問 空き家の所有者や相続者が、「問題を先送りしない」という意識を高めていく呼びかけ、「問題を先送りさせない」後押しやフォロワーを行政が行う必要があると考えますが、市の方策について見解を伺います。

と様々な機会を通じて、問題意識の醸成を図っています。



※ユマニチュードについて

問 認知症の人の行動・心理症状の発生を抑制し、認知症の人と家族等の尊厳ある暮らしを守ること、介護・医療現場にとどまらず、ユマニチュードのさらなる普及に積極的に取り組んでほしいと考えますが、見解を伺います。

答 ユマニチュードは、認知機能の衰えた方へ分かりやすく伝えるための効果的な技法なので、介護・医療の現場だけでなくとどまらず、周知を図っていきたくと考えています。

問 ユマニチュードは、認知機能の衰えた方へ分かりやすく伝えるための効果的な技法なので、介護・医療の現場だけでなくとどまらず、周知を図っていきたくと考えています。

答 ユマニチュードは、認知機能の衰えた方へ分かりやすく伝えるための効果的な技法なので、介護・医療の現場だけでなくとどまらず、周知を図っていきたくと考えています。

【一般質問】



横尾 英司 議員
よこお えいじ

※スクールロイヤーについて

問 スクールロイヤーが助言業務と代理人業務の双方を担う法務体制の整備は必要であり、道教委にも相談体制整備

答 現在、道教委で行っている制度では、助言はできますが、代理人業務はできないこととなっており、制度を活用した学校から、代理人として対応してもらいたいとの要望があったことから、道教委に対し、相談体制の充実等について要望したいと考えています。

の拡充を強く求めてはどうかと考えますが、今後のスクールロイヤーの配置および体制整備について、見解を伺います。

答 現在、道教委で行っている制度では、助言はできますが、代理人業務はできないこととなっており、制度を活用した学校から、代理人として対応してもらいたいとの要望があったことから、道教委に対し、相談体制の充実等について要望したいと考えています。

問 旧国鉄手宮線の夜間の景観形成を本方針の中で、「素朴な風景を演出し、鉄道施設としての歴史の保全を重視」、「夜間利用のために照明灯を設置」とされ、街灯が設置されていますが、目的が達成されているのか改めて

問 旧国鉄手宮線の夜間の景観形成を本方針の中で、「素朴な風景を演出し、鉄道施設としての歴史の保全を重視」、「夜間利用のために照明灯を設置」とされ、街灯が設置されていますが、目的が達成されているのか改めて



て検証し、魅力的な夜間景観の形成について検討する時期に来ていると考えますが、見解を伺います。

答 散策路の街灯は、かつて沿線で使用されていたようなデザインとし、明るさを抑えて設置したのですが、改めて現場の状況を確認し、夜間における安全性の確保と沿線住民への影響を考慮しつつ、地域の特性を生かした夜間景観を創出するため、方策を検討したいと考えています。

【主な質問項目】

- ▽新総合体育館要求水準書(案)について
- ▽地域防災の担い手育成のために
- ▽救急現場にもユマニチュードの考え方を
- ▽総合福祉センターの入浴サービスについて
- ▽学校跡利用について
- ▽第3号ふ頭周辺の道路の無電柱化と景観形成
- ▽リチウムイオン電池等の回収について
- ▽町内会への支援について
- ▽障がい者(児)への支援について
- ▽放課後児童クラブ長期休業期間の食事提供
- ▽さくら公園のいちょうの木の状況は
- ▽住宅エコリフォームについて
- ▽道路交通法施行令改正と道路整備
- ▽小樽天神地区交通戦略について
- ▽小樽港縦貫線、港湾室所管公園の草刈、清掃

※…7ページの用語解説をご覧ください。

日本共産党の主な質問

【代表質問】



まつい まみこ
松井真美子 議員

保健所移転は周知と議論が不十分

問 ウイングベイ小樽への移転は、利用者の声を聞いてから決定すべきだったと思いますが、移転決定後の周知について示してください。

答 周知について、十分でなかったとの声は重く受け止めなければならぬと考えています。現在は、市内各所にポスターを提示するなど周知に努めています。

幼稚園を保育所の代替とするのは無理がある

問 保育所の在り方について、子ども・子育て会議から「幼稚園の預かり保育も必要の受け皿になり得ることも含めて考えるべき」との意見があります。3歳児未満の入所待ちが多い現状で、保育所と性質が異なる幼稚園が代替することができると、見解を伺います。

答 幼稚園と保育所の違いとして、目的が教育と保育で異なることや、預かり時間が幼稚園の方が短いことなどが挙げられますが、幼稚園においても、預かり保育も活用した場合、保育所と同等の預かり時間を確保できることから、代替になり得ると考えています。

放課後児童クラブ民間委託で支援員の処遇は

民間委託後、現在いる支援員等は全員受託事業者へ移行される予定か、また、給与等の処遇が今より後退することはないか、見解を伺います。

答 本人の意思確認を行った上で、受託事業者へ全員転籍していただくことを想定しています。給与等の処遇については、現在の水準を下回ることはないよう、現給保障を含め求めたいと考えています。

図書館をクリーニングシエルトアーに

問 エアコンが設置されている市立図書館をクリーニングシエルトアーとして位置付けるとよいと思いますが、見解を伺います。

答 クリーニングシエルトアーの適合基準の一つとして、「当該施設が、適当な冷房設備を有すること」が挙げられ、図書館は要件を満たすと考えられるため、今後、指定について検討してまいります。

図書館の駐車場を使いやすく



【一般質問】



おぬき げん
小貫 元 議員

問 駐車台数が少なく、1台当たりの幅が狭い市立図書館の駐車場について、駐車場と駐車スペースの拡充を求めますが、見解を伺います。

答 市立図書館の敷地は狭いため、大規模な駐車場の配置の変更や、幅員の拡充は困難であると考えています。そのため、満車時には、市役所駐車場の利用をお願いしており、今後も周知方法を工夫し、市役所駐車場の利用を促していきたいと考えています。

障害者控除対象者認定書の周知推進を

問 要支援2もしくは要介護と認定された方に対して

発送している案内文書に、申請書も同封し、申請しやすくなるよう検討してもらいたいと思いますが、見解を伺います。

答 要介護認定の結果を通知する際、案内文書に申請書も同封したいと考えています。



たかの たかひろ
高野さくら 議員

高齢者運転免許自主返納について

問 警察にある交通安全相談窓口について、運転に不安のある高齢ドライバーや家族が、気軽に相談できるような、市でも広報するべきと考えますが、見解を伺います。

答 現状、市のホームページには、交通安全相談窓口についての掲載がないため、道警の免許センターなどを案内で

きるような形で、ホームページの見直し等を検討したいと考えています。

学校給食の食物アレルギー対応について

問 札幌市では、アレルギーによる一部給食の減額が行われています。公平性の観点から、本市でも、一部弁当持参の児童生徒に対して、給食費の減額をする必要があると考えますが、見解を伺います。

答 食物アレルギーの原因食物は多岐にわたるため、それぞれの原因食物について、献立ごとの減額相当額を積算したり、提供数の削減をしたりすることは、現状、難しい状況にあります。今後、研究のため、他の自治体の状況などを調査したいと考えています。

【主な質問項目】

- ▽手宮公園の樹木の維持管理を
- ▽並行在来線の存続議論に戻るべき
- ▽市営住宅の駐車場の確保を
- ▽給食が食べられない子どもに配慮を
- ▽旭展望台への市道の樹木管理を
- ▽産業会館の活用方針について
- ▽簡易水道への今後の繰入金は
- ▽多額すぎる石狩湾新港の予算要求
- ▽不登校支援として学校に居場所を
- ▽街路樹植栽で緑化と温暖化対策を
- ▽男性の育児休業取得促進に向けて
- ▽小児の夜間急病センターについて
- ▽小樽市はなぜ子育てしづらいのか
- ▽国民健康保険子どもの均等割減免
- ▽国民健康保険都道府県化は問題

中村誠吾議員に対する議員辞職勧告決議を可決

第3回定例会の9月9日に開催した本会議において、町内会のイベントで市民に暴言を吐くなどした中村誠吾議員に対し、辞職勧告決議を賛成多数で可決しました。決議の内容は下記のとおりです。

中村誠吾議員に対する議員辞職勧告決議

我々議員は、市民から負託を受けた者として、その立場と職責の重さを深く自覚し、高い倫理観と見識を持って、市政の発展と住民福祉の向上に努めなければならない。

しかし、中村誠吾議員は令和6年8月24日に地元町内会のイベント会場において酩酊状態で住民とトラブルを起こし、子どもたちを含む市民の方に対して暴言を吐き、テレビ・新聞等で繰り返し大きく報道されたことにより、小樽市や小樽市議会に対する市民の信頼を失墜させた。

このことは、8月28日に開催した記者会見において中村誠吾議員本人も「暴言ですね。相手の方にお詫びさせていただきたい。」と自分の行為を認めている。

立憲民主党北海道総支部連合会も、中村誠吾議員の「公職の辞職勧告」を行うことをすでに決定した。

我々議員には、政治的、倫理的な責任が厳しく求められている。いかなる理由があろうとも、これほど市民を巻き込んで混乱を招いた事実は許されるものではない。

よって、小樽市議会は、中村誠吾議員に対し、自らの意思と責任により、市議会議員の職を辞することを強く求め、勧告するものである。

以上、決議する。

令和6年9月9日
小樽市議会

令和6年9月9日付で、下記のとおり委員の所属に変更がありました。(変更となったのは 部分)

経済常任委員会		建設常任委員会	
委員長	横尾英司(公)	委員長	前田清貴(み)
副委員長	中村吉宏(自)	副委員長	面野大輔(立)
委員	新井田邦宏(公)	委員	高野さくら(共)
委員	小貫元(共)	委員	白濱聡(み)
委員	平戸理史(み)	委員	秋元智憲(公)
委員	中村誠吾(立)	委員	中鉢淳二(自)

※(自) 自由民主党、(公) 公明党、(立) 立憲・市民連合、(み) みらい、(共) 共産党

用語解説

●アウトリーチ(2ページ)

支援が必要だが届いていない人に対し、行政などが積極的に働きかける取組。

●タスクフォース(2ページ)

組織内で緊急性の高い課題などの解決のために一時的に編成されるチームのこと。

●HPVワクチン(4ページ)

子宮頸がんの原因となるヒトパピローマウイルス(HPV)の感染を予防するために開発されたワクチンのこと。

●フューチャーデザイン(5ページ)

様々な課題に対し、現役世代だけでなく、その課題の影響が及ぶ将来世代の立場も踏まえて議論しようという取組。

●ユマニチュード(5ページ)

「あなたは大切な存在です」というメッセージを届ける、包括的なコミュニケーションに基づいたケア技法のこと。

●スクールロイヤー(5ページ)

学校で発生する様々な問題について、助言・アドバイスを行う弁護士のこと。

第3回定例会に提出された議案等の議決結果について

全会一致で可決・同意となった議案

区 分	件 名
市長提出	令和6年度港湾整備事業特別会計補正予算
	令和6年度国民健康保険事業特別会計補正予算
	令和6年度介護保険事業特別会計補正予算
	令和6年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算
	令和6年度下水道事業会計補正予算
	空家等対策会議条例の一部を改正する条例案
	地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例案
	工事請負変更契約について〔旧ごみ焼却場解体工事〕
	教育委員会委員の任命について(平井清子氏)
	固定資産評価審査委員会委員の選任について(杉下清次氏)
議員提出	職員懲戒審査委員会委員の選任について(高橋龍氏)
	議員の派遣について

態度の分かれた議案

区 分	件 名	各会派の態度					採決結果
		自民	公明	立・市	みらい	共産	
市長提出	令和6年度一般会計補正予算	○	○	○	○	×	可 決
	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	×	可 決
	保健所設置条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	×	可 決
	国民健康保険条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	×	可 決
	北海道後期高齢者医療広域連合規約の変更について	○	○	○	○	×	可 決
議員提出	非核港湾条例案	×	×	○	×	○	否 決

全会一致で継続審査となった議案

区 分	件 名
市長提出	令和5年度一般会計歳入歳出決算認定について
	令和5年度港湾整備事業特別会計歳入歳出決算認定について
	令和5年度水産物卸売市場事業特別会計歳入歳出決算認定について
	令和5年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について
	令和5年度住宅事業特別会計歳入歳出決算認定について
	令和5年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について
	令和5年度後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について
	令和5年度病院事業決算認定について
	令和5年度水道事業決算認定について
	令和5年度下水道事業決算認定について
	令和5年度産業廃棄物等処分事業決算認定について
	令和5年度簡易水道事業決算認定について

※継続審査となった決算議案については、第3回定例会閉会後の決算特別委員会で審査を行い、同委員会における審査結果については、第4回定例会で採決する予定です。

請願・陳情・意見書・決議

区 分	件 名	各会派の態度					採決結果
		自民	公明	立・市	みらい	共産	
請 願	総合福祉センターと保健所のウイングベイ小樽への移転の中止を求め、現地での建て替えをすることの要請方について	×	×	×	×	○	不採択
陳 情	総合福祉センターのお風呂をなくさないよう求める陳情方について	×	×	×	×	○	不採択
	総合福祉センターと保健所の築港地区移転計画の中止を求める陳情方について	×	×	×	×	○	不採択
意 見 書	訪問介護の基本報酬引上げの再改定を求める意見書	×	×	○	×	○	否 決
	「核兵器禁止条約締約国会議」へのオブザーバー参加を求める意見書	×	○	○	×	○	可 決
	国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書	○	○	○	○	×	可 決
	自動運転移動サービス等の社会実装に向けた環境整備を求める意見書	○	○	○	○	○	可 決
	慢性閉塞性肺疾患(COPD)の潜在的な患者に対する適切な対応を求める意見書	○	○	○	○	○	可 決
決 議	中村誠吾議員に対する議員辞職勧告決議	○	○	棄権	○	○	可 決

第3回定例会において可決された意見書は、関係省庁等へ提出いたしました。
(自民＝自由民主党、公明＝公明党、立・市＝立憲・市民連合、共産＝日本共産党)

賛成○ 反対× 継続審査△

編集後記

日頃より、「おたる市議会だより」をご愛読いただき、誠にありがとうございます。小樽市議会の活動を知ってもらうことを目的として「おたる市議会だより」を発行しています。

「議会だより」が住民に読まれない「現状が全国の課題と言われている」が、議会だよりに対する市民の皆さんの声があふれ届いていないことから、議会のことが「伝わらない」「届かない」「響かない」という同様の課題が「おたる市議会だより」にもあると捉えています。

「議会の活動を知ってもらうためにも、読んでもらえる、分かりやすい議会だよりをつくる必要がある」との共通認識に立ち、それぞれ意見や考え方の違う議員が、「住民の目線」で読みたいと思ってもらえる議会だよりを目指して検討を重ね、少しずつではありますが、紙面に反映させていきます。

まだまだ課題は多いですが、今後必要としていただける市議会だよりを目指し、取り組んでまいります。

横尾 英司

■広報委員

委員長 横尾 英司
委員 松井真美子

中鉢 淳二
平戸 理史
下兼 薫

■小樽市議会ホームページ（小樽市議会中継）

小樽市ホームページ <https://www.city.otaru.lg.jp> のトップページ「市議会」からアクセスしてください。

■「おたる市議会だより」に対するご意見、ご感想をお寄せください。

宛先（〒047-8660）小樽市花園2丁目12番1号 小樽市議会事務局 TEL 22-2847 FAX 22-2315 E-mail:gikai@city.otaru.lg.jp